

新しい夏のかたち！

工夫をこらして 夏祭り開催



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

| | |
|-----------|--------|
| 人口 | 6,637人 |
| 男子 | 3,216人 |
| 女子 | 3,421人 |
| 世帯数 | 2,603戸 |
| (4年7月末現在) | |

飯田の夏の風物詩 時又灯ろう流しは縮小開催

八月十六日に雷鳴轟き風雨激しい中、飯田時又灯ろう流しが行われました。今年度は、南信州圏域の新型コロナウイルス感染警戒レベルに応じて、急遽代替事業に変更されたものの、三年ぶりに開催することができました。

花火の打上げは時間を短縮し、家庭で観覧できるようユーチューブでライブ配信されました。時又港には長野原竹宵の優しい灯りが花を添えています。

灯ろう流しは新盆供養の行事であることから、新盆



例年の舟がなく、壮年団は大変

希望や笑顔を届けられればというところで、約七十発の花火が飯田の夜空を華やかに飾りました。



雨にも負けず、大輪の花を咲かす

長野原は竹宵&七夕飾り 夏祭りも縮小して開催

分館長 羽生 武彦

コロナ禍で夏休み中の子ども達の行事も多くの規制を受けています。そうした中、長野原では、子ども達に少しでも夏休みの思い出を作ってもらいたいという願い、分館と保・小のPTAが中心となって地域の「竹宵の会」の方々の協力もいただき、七夕飾りを実施しました。急速な感染拡大により、残念ながら参加を希望していた子ども達(約六十名)が一堂に会しての飾り付けはできませんでしたが、思い思いの時間に区民



また、八月十五日には三年ぶりに納涼夏祭りを開催できました。コロナ第七波が拡大中でしたが、基本的な感染防止策の徹底及び屋台の一部をキッチンカーにお願いするなど、アフターコロナを見据えた内容となりました。どのくらいのみなさんが集まるか不安でしたが、多くの区民のみなまに楽しんでいただくことができました。

駄科は盛大に花火を打上

毎年、八月十五日は盆踊りをメインとした駄科夏祭りが行われていました。が、コロナ禍で三年連続で中止になりました。昨年は代わりに打上げ花火を行いました。駄科の夜空を彩りました。

今年本来の夏祭りは早々に中止として「駄科夏祭り・打上げ花火」と銘打って、三十分程度ですが、スターマインなどもあり、疫病退散、駄科区民の幸せを祈り、見応えのある花



火を楽しみました。一日も早いコロナ収束を願い、来年こそは駄科区民が集まり盆踊りの輪を広げ、盛大な駄科夏祭りが行われることを願ってやみません。



二子塚古墳

丹精込めた花々が彩りを添える

人形劇フェスタ中止 コロナ第七波竜丘にも猛威

政府による行動制限も緩和され、収束が近づいたかに見えた新型コロナウイルス感染症ですが、再び猛威を振るっています。

子どもたちにとっても楽しみにしていた夏祭りが、夏の恒例行事にも影響が出ています。

八月四日から四日間にわたり開催される予定だった「いいだ人形劇フェスタ」は直前の新型コロナウイルス感染拡大のため、残念ながら中止となりました。

八月になり、桐林の二子塚周辺の花壇が見ごろになっています。毎年サルビアやマリーゴールドを中心に五種類ほどの花を花法師の会の皆さんが手入れをし、きれいに整備してくれています。

今年梅雨時に雨が少なかったためか、サルビアの赤色が例年以上に艶やかな花壇になっているそうです。四月から種をまき、たけい肥を入れ、苗を育て、植え替え、水やり、草取り、

飯田の夏といえば人形劇といわれるほど地域に根付いた催し。今年こそは例年並みの開催を楽しみにしていた方も多かっただけに、とても残念でした。

夏祭りも、花火の打上げは行われますが、規模を縮小して開催されることが多いようです。

収束の気配が感じられない第七波ですが、一刻も早く落ち着いて芸術の秋、スポーツの秋を楽しめることを願うばかりです。

基本的に土日が休日の仕事であるが、部署での業務内容から土日に出勤することが多い。先日「いつものとおり」土曜の朝から出勤し、業務をこなしていた。とある現場で関係者との打ち合わせを行っていたところ子どもの話になり、「さういえば今日は中体連。わが子はバスケットに出場中」と話したところ「そんな日に打ち合わせを頼んで申し訳ない。早く試合を見に行つてあげて」と言っていた。コロナの世の中になつてから、あらゆる行事に制限がかかっている状況に慣れてしまっていた自分に気づかされたが、それよりもいつの間にか「仕事の都合」を優先し、子どものことを二の次にしていた自分自身にハッとしました。

もちろん、子ども・家族を養うための仕事である以上優先することは当然なのだが、何年か前の自分であれば何とか都合をやりくりして参観日に顔を出すくらいのことではしていた。仕事の忙しさに甘え、コロナの制限に甘えて子どもや家族のことを思う時間をつくつていなかったと反省した。

結局のところ、家族あつての自分であり、頼りなくとも「お父さん」は自分だけだ。仕事の代わりは誰かに頼んで、もう少し家族を優先しよう、子どもと話す時間をつくろう。

心を改め「来週の試合会場はどこ？」と子どもに尋ねたら、「一言「来なくていいよ」と。親の心子知らず。娘よ、立派に育つてくれてありがとう(涙)」

基本的には土日が休日の仕事であるが、部署での業務内容から土日に出勤することが多い。先日「いつものとおり」土曜の朝から出勤し、業務をこなしていた。とある現場で関係者との打ち合わせを行っていたところ子どもの話になり、「さういえば今日は中体連。わが子はバスケットに出場中」と話したところ「そんな日に打ち合わせを頼んで申し訳ない。早く試合を見に行つてあげて」と言っていた。コロナの世の中になつてから、あらゆる行事に制限がかかっている状況に慣れてしまっていた自分に気づかされたが、それよりもいつの間にか「仕事の都合」を優先し、子どものことを二の次にしていた自分自身にハッとしました。

竜丘小学校開校150周年 記念事業について

(11月5日の記念事業 会場・竜丘小体育館)

- 1 記念式典 8:35~ 9:20
- 2 記念音楽会 9:30~10:40
- 3 記念公演 11:00~11:50
「せかいのおんがく」 ましゅ&Kei
- 4 記念シンポジウム 14:00~15:20
「自由画教育の精神を後世につなぐ」

コロナの感染状況によっては参加を制限する可能性があります

〈その他の記念事業〉

- 1 記念誌「竜丘小学校150年の歩み」の発刊
B5版 約180ページを予定 11月発行
- 2 児童用読本「木下紫水物語」の発刊
令和4年2月発行 一冊500円で販売中
- 3 竜丘小児童対象「児童自由画教室」の開催
講師 飯田市美術博物館 手塚俊尚先生
- 4 学校の備品・設備の充実
「自由画考古室」の整備を中心に

* 記念事業にかかわる協賛金のお願い

振込用紙は公民館にあります。締め切りは10月14日です。
ご協力宜しくお願いします。

事務局 小学校・牛澤教頭 26-9036
公民館・田添館長、森本主事 26-9303

竜丘小開校150周年に向けて 竜丘市民大学講座& 竜丘児童自由画教室

竜丘市民 大学講座

六月十九日に竜丘市民大学講座が開催されました。今回は竜丘小学校開校百五十周年に向けて、学校の思い出を語り合いたいという企画でした。

皆さんは、竜丘小学校体育館裏にある謎の階段をご存知でしょうか？階段の怪談として度胸試しに利用したこともあったのではないのでしょうか？実はこれ、奉安殿(ほうあんでん)の遺構なんだそうです。奉安殿とは、戦前の日本において、天皇と皇后の写真(御真影)と教育勅語を納めていた建物です。戦後、建物



「児童自由画 教室」始まる

竜丘小学校開校一五〇周年を記念しての「児童自由画教室」が始まりました。講師は飯田市美術博物館の手塚俊尚先生です。最初の自由画教室は、六年生を対象に七月六日に行われました。六年生の題材は「思い出の校舎」です。この日ま

は開善寺へ移築され、階段だけが残ったそうです。また、作家の藤原ていさんのお父さんが、竜丘小学校の校長先生をしていらしたので、藤原さんも竜丘小学校へ通学していた関係で、PTAの講演会にお越しいただいたこともあったそうです。

他にも、蔵の前にある線路の謎、六角便所、脱脂粉乳、サメの肝油、石炭ストープ、PTA作業で作った山滑り台、学芸会、歴史的価値のあるピアノが緑中へ移管されて廃棄されてしまったとか、旧体育館の取り壊しが突然始まってしまったこと等思い出話に花が咲き、内容の濃い、楽しい会となりました。



今年度は三つの大きな大会に優勝することを目標に活動し、五月には喬木大会で優勝することが出来まし

その後、南信大会でも優勝することが出来ました。県大会の前日には、市長を表敬訪問し、「周りへの感謝の気持ちを大事にし、南信地区の代表として精一杯プレーしてきてください」と、激励の言葉を頂きました。

県大会では、初戦で長野市のチームに勝利！続く準々決勝では今大会優勝の佐久市の野沢少年野球クラブに奮闘するも三対一〇で敗れました。今までにない強豪チームとの対戦や素晴らしい球場で試合が出来たことは、大きな財産になったと思います。

当教室は毎週土・日曜日の午前中に竜丘小学校グラウンドで練習をしています。野球に興味がある子や体を動か

ことをはつきりさせて、もつと描く内容を絞ってみてください。大切なことは、自分の描きたいことを大きく描くことです。写真をもとに写すだけでは、感動がなくなりません。人物を入れることによって、絵が生き生きしてきます。

こう話された後、手塚先生は子どもたちのスケッチを見て回り、絵の中からその子なりの表現のよさを見つけ、それを中心に自分の描きたいものを絞っていくことを話されました。手塚先生から指導を受けた子どもたちは、スケッチした絵の修正を始めていきます。

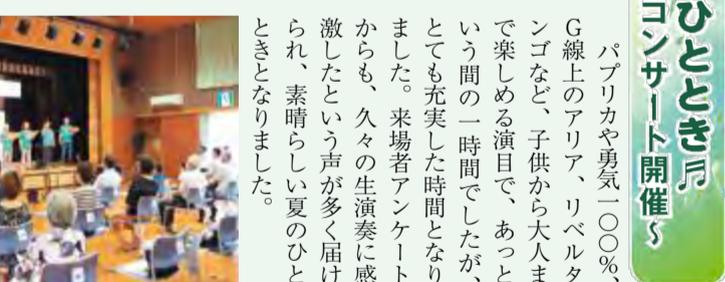
この絵の完成は十月頃です。製作された絵画は、十一月五日の記念式典の折りに校内に展示されます。

七月十八日、ふるさとコンサートが開催されました。竜丘コーラスの歓迎演奏の後、フルート、バイオリン、ギターのトリオで信州に縁のある「フロールセール」が、クラシックとブラジル音楽と信州愛をブレンドした演奏で会場を彩りませてくれました。

パプリカや勇気一〇〇%、G線上のアリア、リベルタンゴなど、子供から大人まで楽しめる演目で、あっといふ間の一時間でしたが、とても充実した時間となりました。来場者アンケートからも、久々の生演奏に感激したという声が多く届けられ、素晴らしい夏のひとときとなりました。

六月十一日、六月十二日にかけて、東京農工大学の一年生が飯田市の公民館活動を学ぶため来飯し、十二日には八人の学生が竜丘でのフィールドスタディーを行いました。最初に公民館長から竜丘の地域及び公民館活動の概要の話があり、続いて古墳群(塚原二子塚、馬背塚)の現地見学を行いました。その後乳幼児学級のファミリーデーを見学し、さらに自由画教育の歴史と継承について話を聞きました。以上をわずか半日で実施する大変内容の濃いものでした。

東京農工大学の学生が竜丘をフィールドに公民館を学ぶ



で、学生のみなさんは大変であったかと思いますが、この地域に根差している自治の精神や「なぜ公民館が好きなのか」を語る講師(古墳・下平隆司さん、自由画・宮嶋聰子さん)の言葉を熱心にメモを取る姿が印象的でした。



「飯田市公民館コーラスグループ発表会」に参加
7月3日飯田文化会館にて

